



ニフティサーブで WWWにトライ!

いとうくにお

もし、ニフティサーブに入っているなら、あなたはすでにインターネットに「つながって」います。世界の何千万というインターネットピープルに、電子メールを送ることができるし、その逆も可能なのです。それだけではありません。世界中のホームページを次から次へと見てまわる「ネットサーフィン」だって、ニフティサーブを利用してできるようになりました。あなたが望むなら、少しの努力で今日からでもそれができるのです。この記事を読んで、挑戦してみませんか。



「ニフティサーブからインターネットが利用できるらしい」ニフティサーブを使っている人ならそんな話を聞いたことがあるかもしれませんが、それは本当です。「でも本格的にやるなら、どっかのインターネットサービスプロバイダー¹と契約しなくちゃだめだ」そういう話も聞いたことがあるかもしれませんが、それはちょっと前まで本当でしたが、今は違います。ニフティサーブからネットサーフィン²することができますし、世界中のあちこちからファイル³をゲット³してこられるようになりました。確かに多少の制限はありますが、初めてインターネットを体験してみようという人にとっては十分すぎるくらいことができます。

あなたの電子メールアドレス

これまでニフティサーブしか知らなかった人がインターネットを使う際に知っておくべきことは、イン

ターネットにつながっているネットワークはたくさんあるということです。たとえば、僕のニフティサーブのIDは MGH00253 で、ニフティサーブの中ではこれだけ指定すれば僕宛てに電子メールが届きますが、インターネット上ではどこの誰だかわかりません。インターネットにつながっているほかのネットワークから僕に電子メールを送るときの正しい宛先は

mg00253@niftyserve.or.jp

となります。IDの後ろに@niftyserve.or.jp を付けることで、「日本のニフティサーブというパソコン通信サービスを使っている MGH00253」とわかり、初めてインターネットのメールを届けることができるようになります。つまり、あなたがニフティサーブのIDを持っているなら

あなたのID@niftyserve.or.jp

と名乗ることで、あなたはインターネットの

利用者の1人になれるのです。

接続方法は
3種類

ニフティサーブを使ってインターネットに接続する方法

は、表1のとおり、大きく分けて次の3種類があります。

① パソコン通信経由の接続

ふつうにニフティサーブに接続し、メニューで用意されている電子メール、ネットニュース⁴、FTP、TELNET⁵などの機能を使います。パソコン通信ができていならそれ以上の設定や準備は必要ありませんし、メニュー方式で利用できるため操作はわかりやすいでしょう。でも、WWWが利用できないという制限があります。

② FENICS ROAD4へのPPP⁶接続

一般のインターネットサービスプロバイダーへ接続するのと同じように、全国103か所のFENICS ROAD4のアクセスポイントへ



PPP 接続する方法です。今年1月に開始されたサービスですが、PPP 接続のアクセスポイントが設置されただけなので、必要なソフトの入手やその設定などはユーザーが自分で整える必要があります。また、他のサービスプロバイダーを利用するのとは違って、電子メールやネットニュースは利用できません。これらのサービスを利用したいときは①の方法、つまり一度回線を切り、パソコン通信ソフトで接続しなおさなくてはなりません。

② ニフティマネジャーを使った HyperROAD への PPP 接続

新しく設置された HyperROAD というアクセスポイントへ PPP 接続する方法です。

ニフティマネジャーは、ニフティサーブの情報を見やすく表示し、ほとんどの操作をマウスで行えるようにするニフティサーブ専用の通信ソフトです。昨年の9月から用意されていましたが、これまではパソコン通信接続専用のものしかありませんでした。5月に公開された最新バージョンの1.30では、HyperROAD への PPP 接続に対応し、WWW ブラウザー⁷と連携する機能が装備されました。ただし、残念ながら1.30は現在ウィンドウズ用だけで、マッキントッシュのユーザーは、今年の秋まで待たなくてはなりません。

HyperROAD のアクセスポイントは5月30日現在、東京をはじめ全国7か所に設置されます。その後今年9月までに40か所、97年3月には全国100か所に拡充すると発表されています。

入門に最適な HyperROAD

「ふだん、仕事にニフティサーブを使っているけどインターネットはまだ、とりあえず手っとり早くインターネットのホームページを見たいんだけど」という人には③の

HyperROAD への PPP 接続が最もオススメです。WWW との連携機能をもつニフティマネジャー1.30ならニフティサーブにアクセスするのと変わらない簡単さでネットサーフィンが楽しめるからです

WWW ブラウザーとの連携機能とは、ニフティマネジャーでフォーラムや電子メールの本文中に含まれる URL⁸ を選択し、ツールバーの WWW アイコンをクリックすると、WWW ブラウザーが表示されて自動的にその URL のホームページにアクセスするというものです⁹。

WWW ブラウザーは Netscape Navigator が Internet Explorer が使用できます。

ニフティはインターネットに最適か? ニフティサーブのインターネット接続サービスは、他のプロバイダーに比べて実は大きな短所があります。

それは、電子メールの制約です。HyperROAD への接続でも、ニフティマネジャー以外のソフトでは電子メールが使えません。したがって、他の電子メール専用ソフトで実現されている画像の添付などの高度な機能やネットサーフィン中に使う可能性がある WWW ブラウザー付属のメール機能が利用できません。

以上のことを考えると、もし、あなたが他のサービスプロバイダーにすでに入っていて快適に使っているなら、わざわざニフティサーブに乗り換えるメリットはないでしょう。ただ、現在すでにニフティサーブを使っている人にとって、ニフティサーブがインターネット体験の最も簡単な入り口であることも間違いありません。

次のページからその入り口に入る最も簡単な方法「ウィンドウズとニフティマネジャーを使った HyperROAD への PPP 接続」を説明していきます。



図1 WWW との連携

- 1 インターネットサービスプロバイダー
インターネットとの仲介役を果たす専門業者。インターネットマガジンで「プロバイダー」というこの業者を指す。ニフティサーブもインターネット接続サービスを行っているプロバイダーの1つである。
- 2 ネットサーフィン
ホームページからホームページへ気まぐれに歩くことで、インターネットブームの原動力になっている。ニフティサーブからインターネットが利用できるといってもこれができるできないとは大違いだ。
- 3 ファイルをゲット
FTP という機能を使って他のコンピュータからファイルを転送して送ること。パソコン通信でいうところの「ダウンロード」のようなものだ。マックユーザの筆者は、よくアップルコンピュータ社のコンピュータからファイルを取得してくる。
- 4 ネットニュース
テーマ別の情報交換の場。パソコン通信でいえば「電子掲示板」にあたる。ニフティサーブでは tnn と f という、日本語が使える2つのニュースグループが利用できる。
- 5 TELNET
テルネットは今つながっているコンピュータ（たとえばニフティのホスト）からほかのコンピュータ（たとえばアスキーのホスト）へ接続する機能。PPP Point to Point Protocol の略でピーピーピーと読む。3ピーピーは読んではいけない、電話回線を經由してインターネットに接続するときに使われる通信方式。
- 7 WWW ブラウザー
WWW は World Wide Web の略で、世界中に広がったホームページどうしのリンク（つながり）を意味する。WWW ブラウザーはそのホームページを閲覧（ブラウズ）するソフト。有名な WWW ブラウザーであるネットスケープ社の Netscape Navigator はニフティサーブ（GO NETSCAPE）からダウンロード購入できる。価格は4000円で、ニフティサーブの使用券（2000円分）が付いてくる。マイクロソフト社の Internet Explorer もニフティサーブからダウンロードできる（GO EXPLORER）、これは無償。インターネットマガジンの CD-ROM にも入っている。
- 8 URL
Uniform Resource Locator の略。インターネット上のホームページの所在を示す住所。<http://www.xxx.xxx/> と表す。

パソコン通信しか知らない人のための用語解説

ニフティマネジャー1.30の動作環境

- コンピュータ本体
Intel386DX/33MHz以上を搭載し、ウィンドウズ Ver3.1 またはウィンドウズ95が稼働するもの（486DX/33MHz以上を推奨）
- 基本ソフトウェア
ウィンドウズ Ver3.1 またはウィンドウズ95
- メモリー
8Mバイト以上
- ハードディスク
10Mバイト
- マウス
ウィンドウズで利用できるマウス
- モデム
ヘイズAT コマンド互換のモデム

表1 ニフティサーブでインターネットに接続する3つの方法

接続方法	必要なソフト	利用できるインターネットサービス					課金
		メール	ネットニュース	WWW	FTP	TELNET	
パソコン通信	一般のパソコン通信ソフト			x			通常料金 or 高速対応料金**
ROAD4 への PPP 接続	TCP/IP ソフト + WWW ブラウザー	x	x				1分10円
HyperROAD への PPP 接続	ニフティマネジャー1.30 + WWW ブラウザー	*					通常料金 or 高速対応料金 (FENICS ROAD3 ~ 5 への接続と同等)***

* メールやネットニュースを利用する場合はWWW ブラウザーからニフティマネジャーに切り換える必要がある。

** 通常料金は1分8円 (Road1/2) または20円 (Road3 ~ 5) と管理費月額200円。高速対応料金は3時間まで月額1800円。以降は1分7円 (Road1/2) または15円 (Road3 ~ 5)

*** HyperROAD 接続では、パソコン通信接続では無料となるメニューを利用しても課金される。

ダイヤルアップネットワークと ニフティマネジャー1.30の設定

Point! ダウンロードはBPLUSを使い、Road4かRoad5で行わないと長時間かかります。この組み合わせだと、十数分でダウンロードが終了します。

ウィンドウズ95でインターネットを使うためにはダイヤルアップネットワークというソフトを使います。これはウィンドウズ95に付属していて、マシンによってはインストールされています。この設定が必須で、その後、ニフティマネジャー1.3を設定します。



ニフティマネジャーのダウンロード

まず、ニフティマネジャー1.30を手に入れます。ニフティサーブにパソコン通信ソフトで接続し、GO NIMと入力します。ダウンロードの手順は次のメニューに従ってください。

NIFTY Manager サポートコーナー NIM

- NIFTY Manager サポートフォーラム
- ダウンロード (無料)

>2 2を入力

このコーナーには、常に最新のバージョンのNIFTY Managerを登録しております。NIFTY Manager プログラムはこちらからダウンロードしてご利用ください。なお、モデムやアクセスポイント等の追加ファイルにつきましては、NIFTY Manager サポートフォーラム (NIMSUP) 内各フォーラムのデータライブラリへ登録されます。

- 中略 -

ハードディスクにダウンロードする場合はこれを選択

番号	総数	登録済	最新	ライブラリ名
1	14	(5)	05/30	NIFTY Manager for Windows 3.1
2	1	(1)	04/17	NIFTY Manager For Macintosh
4	3	(3)	05/30	NIFTY-Serve Dialer Windows 3.1用

>1 1を入力

データライブラリ (1:データ一覧 2:検索 3:アップロード (無料) 4:ダウンロード E:終了)

>1 1を入力

番号	ID	登録日付	バイト	参照	データ名
38	SYS00081	96/05/30	2349700	9999	B HD-NIM.EXE WINNIM Ver1.30 HD-DISK
37	SYS00081	96/05/30	860028	3194	B FD-NIM1.EXE WINNIM Ver1.30 DISK1
36	SYS00081	96/05/30	974408	3054	B FD-NIM2.EXE WINNIM Ver1.30 DISK2
35	SYS00081	96/05/30	518470	3101	B FD-NIM3.EXE WINNIM Ver1.30 DISK3
34	SYS00081	96/05/09	54412	5751	B CNVDISK.EXE キャビネット移行ツール

>38 38を入力 (データ名を確認)

データ名: HD-NIM.EXE WINNIM Ver1.30 HD-DISK
ID: SYS00081
登録日付: 96/05/30

フロッピーディスクにダウンロードする場合はこの3つをダウンロード

属性: バイナリ
バイト: 2349700
参照: 15659
補足説明:

NIFTY Manager for Windows Version 1.30についてのお知らせ

日頃より、NIFTY Manager for Windows をご愛用いただき、誠にありがとうございます。弊社では、WWW ブラウザ-連携機能を追加したVersion 1.30の提供を開始いたします。

補足説明の最後に示してあるファイル名を入力 C:\TEMP\HD-NIM.EXEのようにダウンロードするフォルダを指定することもできる。

- 中略 -

ダウンロードファイル名を(HD-NIM.EXE)としてください
処理 (1:ダウンロード E:終了)

>1 1を入力

プロトコル (1:XMODEM 2:BPLUS E:終了)

: 2 2を入力

ダウンロードファイルを格納する準備をしてください (BPLUS) 2349700バイトあります
ファイル名 (改行のみで終了)
: HD-NIM.EXE
- ダウンロード開始 -
- ダウンロード終了 -

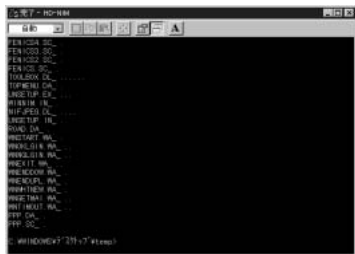
この表示が出たら、通信ソフト側で受信の操作をします。BPLUS対応の通信ソフトの場合、通常は自動的に受信が開始されます。

ニフティマネジャーのインストール



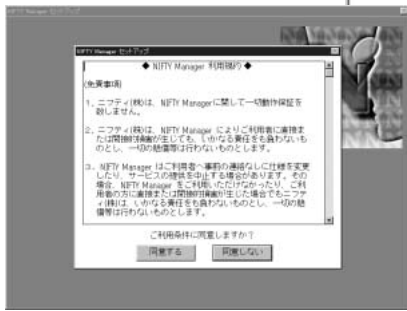
1 HD-NIM.EXE をダウンロードしたら適当な名前のフォルダを作ってそこにHD-NIM.EXE を移動します。

2 HD-NIM.EXE は圧縮されたファイルですが、ダブルクリックすると圧縮前の状態に還元されます。HD-NIM.EXE をダブルクリックすると、自動的にMS-DOSのウィンドウが表示され、HD-NIM.EXE の復元が行われます。MS-DOSウィンドウにプロンプトが表示されたら、復元は完了です。MS-DOSウィンドウは閉じてください。



3 ①で用意したフォルダに還元されたファイルが入っているので、そこからSetup.exeを探し、ダブルクリックします。これでインストールが開始されます。

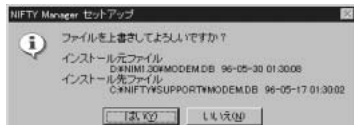
4 最初に利用規約に関する文章が表示されます。一通り目を通してから「同意する」ボタンをクリックします。



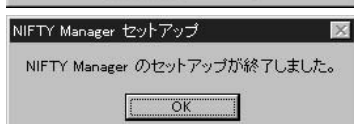
5 ニフティマネジャーをインストールするフォルダを指定し、「継続」ボタンをクリックします。



6 インストール先を確認し「OK」ボタンをクリックします。



7 古いバージョンのニフティマネジャーがインストールしてある場合はファイルを上書きしていかどうかを聞いてくるので、「はい」を選択します。



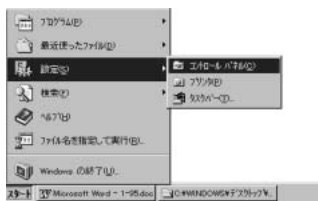
8 いくつかメッセージが出て最後に次のように表示されます。「OK」ボタンをクリックしてインストールを終了します。



9 ニフティマネジャーのフォルダが作成され、画面に表示されます。

ダイヤルアップネットワークのインストール

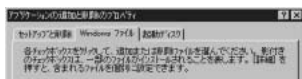
ダイヤルアップネットワークはウィンドウズ95に付属していますが、標準のセットアップではインストールされていません。コントロールパネルにダイヤルアップネットワークが入っていない場合は、次のようにインストールしましょう。



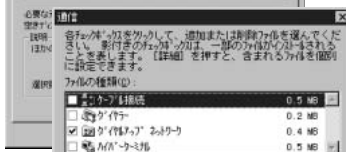
1 ウィンドウズ95の「スタート」メニューから「設定」、「コントロールパネル」を選びます。



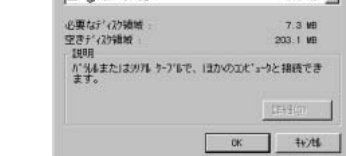
2 コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



3 ウィンドウの上側に表示されている「ウィンドウズファイル」をクリックし、「通信」をダブルクリックします。



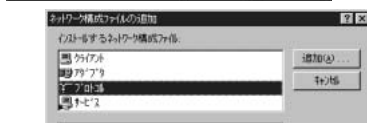
4 「ダイヤルアップネットワーク」のチェックボックスをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。前の画面に戻ったらもう一度「OK」ボタンをクリックします。



5 今度はコントロールパネルで「ネットワーク」をダブルクリックします。



6 「追加」ボタンをクリックします。



7 「プロトコル」をクリックし、「追加」ボタンをクリックします。



8 「製造元」欄から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」欄で「TCP/IP」を選択。「OK」ボタンをクリックして前の画面に戻ったらもう一度「OK」ボタンをクリック。

ダイヤルアップネットワークの設定

インストールしたダイヤルアップネットワークに、ニフティサーブのHyperROADに接続するための設定を用意します。



1 「スタート」、「プログラム」、「アクセサリ」、「ダイヤルアップネットワーク」を選択するとダイヤルアップネットワークのウィンドウが表示されるので、「新しい接続」アイコンをダブルクリック



2 「接続名」欄に適切な名称（ニフティサーブのHyperROAD用だということがわかるようなもの）を入力し、「モデムの選択」で使用するモデムを選択します。ここでは接続されているモデムの一覧が表示されるので、そこから選択してください。設定がすんだら「次へ」ボタンをクリックします。



3 接続先の電話番号を入力し、「国番号」欄で「日本」を選択します。電話番号はHyperROADの番号（東京なら03-5711-0003または03-5711-2001）を入力しないとPPP接続ができないので注意。それがすんだら「次へ」ボタンをクリックします。



4 続けて「完了」ボタンをクリックします。これでダイヤルアップネットワークのウィンドウに戻ります。



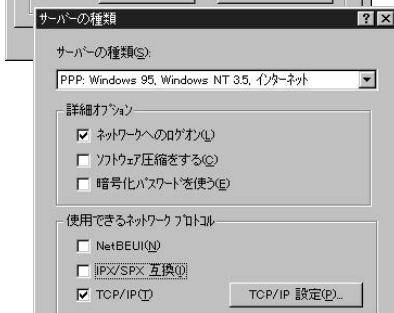
5 設定したHyperROAD用の接続設定のアイコンが見えるはずです。



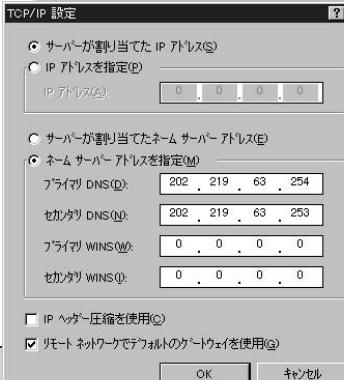
6 HyperROAD用の接続設定のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。



7 「国番号と市外局番を使う」にチェックマークが入っていることを確認し、入っていない場合は、クリックしてチェックマークを入れてください。「サーバーの種類」をクリックします。



8 「サーバーの種類」は「PPP:Windows 95, Windows NT 3.5, インターネット」を選択し、チェックボックスの設定は「ネットワークへのログオン」と「TCP/IP」のみチェックマークのついた状態にします。すんだら「TCP/IP設定」ボタンをクリック。



9 ラジオボタンとチェックボックスをこのように設定します。「ネームサーバーアドレスを指定」のところはプライマリDNSを202.219.63.254、セカンダリDNSを202.219.63.253として、あとは「OK」ボタンを何度かクリックしてダイヤルアップネットワークのウィンドウに戻ります。これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。

ニフティサーブへの接続、ニフティマネジャーの使い方

Point!

ニフティマネジャーのアクセスポイント選択でHyperROADを選択すると、ニフティマネジャー単独ではニフティサーブに接続できません。必ずダイヤルアップネットワークでHyperROADに接続してからさらにニフティマネジャーで接続しなければなりません。ニフティマネジャーでHyperROAD以外のアクセスポイントを選択している場合は、ニフティマネジャー単独でニフティサーブに接続できませんが、この場合はPPP接続ではなく、WWWはできませんので注意してください。

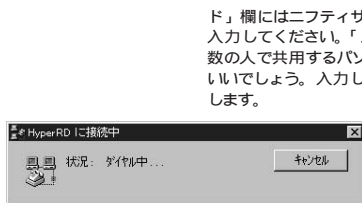
初めに前ページで設定したダイヤルアップネットワークでニフティサーブに接続し、その後ニフティマネジャーを使います。

ニフティサーブへの接続

ダイヤルアップネットワークの準備ができたので、ニフティサーブに接続してみましょう。初めてのときには、ニフティマネジャーの設定も必要になります。うまくつながったら、いよいよネットサーフィンに挑戦します。



1 「スタート」メニューから「プログラム」、「アクセサリ」、「ダイヤルアップネットワーク」を選択し、ダイヤルアップネットワークのウィンドウでHyperROAD用の接続設定のアイコンをダブルクリックします。



2 「ユーザー名」欄にニフティサーブ用ユーザーIDの前に「NIM-」をつけたものを入力します。ROAD4へのPPP接続では「NIF-」をつけますが、HyperROADでは「NIM-」なので気をつけてください。「パスワード」欄にはニフティサーブ用のパスワードをそのまま入力してください。「パスワードの保存」の欄は、複数人で共用するパソコンであれば保存しないほうがいいでしょう。入力したら「接続」ボタンをクリックします。



3 接続の状況がメッセージで表示されます。



8 使用するモデムを「モデム」欄のポップアップメニューから選択してください。該当するものがなければヘイズATを選択します。選択後「OK」ボタンをクリックし、通信設定画面に戻ります。



9 7から「アクセスポイント設定」ボタンをクリック。ここでHyperROADのアクセスポイントを選択します。すでにダイヤルアップネットワークによってHyperROADに接続されているわけですが、ここで選択するアクセスポイントによってニフティサーブへのログイン用の手順が決まるので、ここでHyperROAD以外を選択するとログインはできません。アクセスポイントを選択したら「OK」ボタンをクリックします。通信設定ダイヤルボックスに戻り、ふたたび「OK」ボタンをクリックします。

10 ニフティマネジャーのタイトル画面が表示されます。次回からはニフティマネジャーを起動すると常にこの画面が表示されます。ニフティサーブに接続するには「オンライン接続」ボタンをクリックします。

4 いくつかメッセージが表示され、最終的にこんな表示になればHyperROADとのPPP接続は成功です!!



5 ニフティマネジャーを起動します。ニフティマネジャーのフォルダーの中のニフティマネジャーのアイコンをダブルクリックするか、「スタート」メニューから「プログラム」、「NIFTY-Serve」、「NIFTY Manager」を選択します。



6 一番最初はアクセスポイントなどの設定をしていないので、このダイアログボックスが表示されます。設定は最初に1回行うだけです。「OK」ボタンをクリックしてください。



7 通信設定ダイアログボックスが現れたら、まず以下の項目を入力します。ユーザーID (ここでは先頭に「NIM-」はつけず) とパスワード (モデムを接続してあるポート番号) 通信速度 (28.8K モデムの場合は38400) 「モデム設定」ボタンをクリックします。



11 接続状況を伝えるメッセージがいくつか表示されたのち、ニフティサーブに接続します。

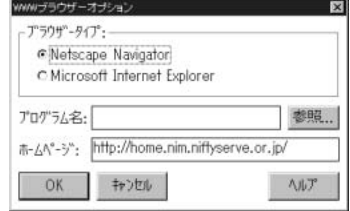
12 ニフティサーブに接続すると、ログインメッセージに続き、ニフティサーブのトップメニューが表示されます。

WWW ブラウザーとの連携やインターネットへのメールの送信(ニフティサーブからの送信)を試してみましょう。

WWW ブラウザーの登録



1 ニフティマネジャーとWWW ブラウザーを連携させるには、ニフティマネジャーにWWW ブラウザーを登録しておく必要があります。まず「スペシャル」メニューから「オプション」、「WWW ブラウザー」を選択します。



2 「ブラウザタイプ」欄でNetscape NavigatorかMicrosoft Internet Explorerのどちらかをラジオボタンで選び、それから「参照」ボタンをクリックします。



3 WWW ブラウザー(ここではnetscape.exe)が置かれた場所を指定し、「OK」ボタンをクリックします。



4 「プログラム名」欄にWWW ブラウザーが置かれた場所が表示されます。「OK」ボタンをクリックして登録は完了です。

WWW ブラウザーとの連携

ニフティマネジャーからWWW ブラウザーを呼び出すにはツールバーにあるWWW ブラウザー連携ボタンをクリックします。



フォーラムのメッセージやメールの文中にURLが書かれているときは、そのURLを選択した状態でWWW ブラウザー連携ボタンをクリックすると、WWW ブラウザーは自動的にそのURLで示されるホームページを表示します。URL部分を選択するには、そこにマウスポインタを合わせてダブルクリックします。



インターネットメールの出し方

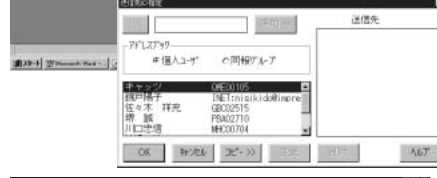
HyperROADではニフティマネジャーの中でしかメールは使えませんので、使い方はマスターしておきましょう。



1 まずツールバーのメールボタンをクリックします。送信メールのウィンドウが表示されます。宛先を指定するには「ID 選択」ボタンをクリックします。



2 「ID」欄に宛て先のアドレスを入力します。ニフティサーブからインターネットへのメールは先頭に大文字でINET : をつけることになっています。INET : が無いとニフティマネジャーはメールのアドレスとして受け付けてくれません。アドレスを入力したら「追加」ボタンをクリックします。「ID」欄に入力したアドレスが「送信先」欄に移動します。宛て先が指定できたら「OK」ボタンをクリックして送信メールのウィンドウに戻ります。



3 「題名」欄にメールの見出し、その下の欄に本文を書きます。「送信」ボタンをクリックするとメールは送信されます。



通信を終了する

現在入っているサービスやフォーラムを抜けて、それから接続を切ります。



1 ツールバーにドアのボタンが表示されているときはそれをクリックします。これでその時点で入っていたサービスやフォーラムから抜けれます。ターミナルウィンドウが表示されているときは、プロンプトで「E」を入力してターミナルウィンドウでの操作を終了します。次にツールバーの右端の「接続終了」ボタンをクリックします。これでニフティサーブとの接続が切れます。ただし、まだHyperROADにはつながったままです。



2 ウィンドウズ95のダイヤルアップネットワークのウィンドウで「切断」ボタンをクリックします。これで電話回線が切れます。



Point! ダイヤルアップネットワークの切り忘れに注意してください。またネットサーフィンで遊んでいる間もニフティサーブのほうの課金は加算され続けることを忘れなく。

ウィンドウズ
3.1

編

専用ダイヤラーさえ ダウンロードすれば接続は簡単

ウィンドウズ3.1では、ニフティマネジャーのほかニフティダイヤラー(NIFTY-Serve Dialer)というソフトを使います。どちらもニフティサーブ専用なので、ウィンドウズ95とくらべて設定も操作も簡単です。パソコン通信の延長でそのままインターネットにつながる感覚です。



ダイヤラーのダウンロード

ニフティサーブにパソコン通信ソフトで接続し、GONIMと入力します。次のメニューにしたがってください。

NIFTY Manager サポートコーナー NIM

1. NIFTY Manager サポートフォーラム
2. ダウンロード (無料)

>2 2を入力
このコーナーには、常に最新のバージョンのNIFTY Managerを登録しております。NIFTY Manager プログラムはこちらからダウンロードしてご利用ください。なお、モデムやアクセスポイント等の追加ファイルにつきましては、NIFTY Manager サポートフォーラム(NIMSUP)内各フォーラムのデータライブラリへ登録されます。

- 中略 -

ハードディスクにダウンロードする場合はこれを選択

番号	総数	登録済	最新	ライブラリ名
1	14	(5)	05/30	NIFTY Manager for Windows 3.1
2	1	(1)	04/17	NIFTY Manager For Macintosh
4	3	(3)	05/30	NIFTY-Serve Dialer Windows 3.1用
>4				4を入力
データライブラリ (1:データ一覧 2:検索 3:アップロード (無料) 4:ダウンロード E:終了)				
>1				1を入力

番号	ID	登録日付	バイト	参照	データ名
3	SYS00081	96/05/30	1177844	3519 B	HD-NFDR.EXE NIFDLR Ver1.00 HD-DISK
2	SYS00081	96/05/30	847748	787 B	FD-NFDR1.EXE NIFDLR Ver1.00 DISK1
1	SYS00081	96/05/30	331733	830 B	FD-NFDR2.EXE NIFDLR Ver1.00 DISK2
>3					3を入力

データ名: HD-NFDR.EXE NIFDLR Ver1.00 HD-DISK
ID: SYS00081
登録日付: 96/05/30
属性: バイナリ
バイト: 1177844

フロッピーディスクにダウンロードする場合はこの2つをダウンロード

参照: 3519

補足説明:

NIFTY-Serve Dialer for Windows についてのお知らせ

日頃より、NIFTY Manager for Windows をご愛用いただき、誠にありがとうございます。弊社では、WWWブラウザ連携機能を追加したVersion 1.30の提供を開始いたします。本プログラムはWindows ver3.1用で、NIFTY Manager for Windows 専用のWinSock とppp接続用のダイヤラーを同梱したものです。

- 中略 -

補足説明の最後に示してあるファイル名を入力します。C:\TEMP\HD-NFDR.EXEのようにダウンロードするディレクトリごと指定することもできます。

ダウンロードファイル名を「HD-NFDR.EXE」としてください

処理 (1:ダウンロード E:終了)

>1

1を入力

プロトコル (1:XMODEM 2:BPLUS E:終了)

>2

2を入力

ダウンロードファイルを格納する準備をしてください (BPLUS)

1177844バイトあります

ファイル名 (改行のみで終了)

: HD-NFDR.EXE

- ダウンロード開始 -

- ダウンロード終了 -

この表示が出たら、通信ソフト側で受信の操作をします。BPLUS対応の通信ソフトの場合は自動的に受信が開始されます。

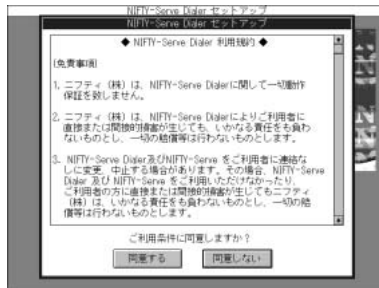
ニフティマネジャーの準備

ニフティマネジャーをダウンロードし、インストールしておください。ニフティマネジャーのダウンロードとインストールの方法は、296ページにウィンドウズ95用の説明がありますが、ウィンドウズ3.1の場合も同じですので、そちらを参考にしてください。

参考
P296



ダイヤラーのインストール



1 最初に利用規約に関する文章が表示されます。一通り目を通してから「同意する」ボタンをクリックします。



2 使用するパソコンの機種を選択し、「続行」ボタンをクリックします。



3 インストール先を指定します。ニフティマネジャーがインストールされているディレクトリを指定してください。



4 インストール先を確認し、「OK」ボタンをクリックします。



5 いくつか確認のメッセージが表示されますが、「OK」ボタンをクリックしてください。



6 インストールが終了したら、ウィンドウズを再起動します。

ダウンロードしたダイヤラーHD-NFDR.EXEは適当な名前のディレクトリを用意し、そこに移動します。HD-NFDR.EXEをファイルマネージャでダブルクリックすると、MS-DOSの画面が表示され、圧縮されていたファイルが復元されます。ここまでの手順はウィンドウズ95のニフティマネジャーと同じなので、296ページを参考にしてください。復元されたファイルからdirsetup.exeを探し、ダブルクリックするとインストールが開始されます。

注意

ダイヤラーをインストールするとウィンドウズ3.1の通信環境の設定が変わるため、NetWareやLAN ManagerのLAN環境では不具合が生じる可能性があります。また、他のプロバイダーも利用している場合はそのプロバイダーへの接続ができなくなるので、あらかじめ元の環境を退避するか、アンインストールしてください。

ダイヤラーとニフティマネジャーの設定



1 インストールが終わるとプログラムマネージャにニフティサーブのグループが登録されますので、その中のニフティマネジャーのアイコンをダブルクリックして起動します。



2 ニフティマネジャーを起動し、一番最初はアクセスポイントの設定を聞いてきますので、OKを押し、設定に入ります。



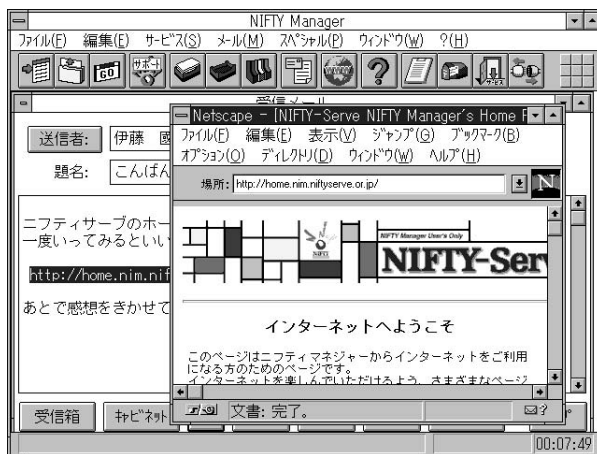
3 通信設定ダイアログボックスが表示されます。「アクセスポイントの設定」でHyperROADを選択したり、「モデム設定」で使用するモデムを選択したりする作業はウィンドウ95の場合と同じなのでここでは省略します。それらを設定した後、この画面に戻ってきたら、「インターネット設定」ボタンをクリックしましょう。



4 このチェックボックスにチェックマークがついていれば、ニフティマネジャーを終了したときに電話回線も切断されます。「OK」ボタンをクリックして通信設定ダイヤログボックスに戻り、もう一度「OK」ボタンをクリックします。



5 次回からはニフティマネジャーを起動するとこの画面が表示されます。ニフティサーブに接続するには「オンライン接続」ボタンをクリックします。



6 接続状況を伝えるメッセージがいくつか表示されたのち、ニフティサーブに接続します。ニフティサーブに接続すると、ログインメッセージに続き、ニフティサーブのトップメニューが表示されます。あとはWWWボタンをクリックしてネットサーフィンを楽しんでください。

Q モデムは14400bpsだがWWWブラウザとの連携は可能か。

A だいじょうぶです。ただし、その場合でもアクセスポイントはHyperROADに設定しなくてはなりません。

Q 東京以外のHyperROADのアクセスポイントを使いたいニフティマネジャーにはHyperROADについては東京しかない。

A 新しいアクセスポイント一覧はNIFTY Manager サポートフォーラム (GO NIMSUP) で入手できます。ウィンドウ95の場合はダイヤルアップネットワークで希望のアクセスポイントを設定します。その際、ニフティマネジャーのほうは東京のHyperROADのままで大じょうぶです。

Q HyperROAD接続ではNetscapeでのメール機能は使えないということだが、フォームへ入力できないのか。

A ホームページの作り方によります。フォームのデータをメールで送る形式の場合はためですが、CGIスクリプトで処理される場合はだいじょうぶです。

Q ROAD4のPPP接続では、ウィンドウ95でもログイン手順を書いたスクリプトツールを別に用意しなくてはいけなかったが、

HyperROADのほうはどうか。

A ROAD4へのPPP接続ではログイン手順をスクリプトで設定しておく必要があり、さらにそのスクリプトに関するトラブルも多く、接続を難しくしていました。HyperROADではスクリプトを用意する必要はないので設定も楽ですし、トラブルも起こりにくくなっています。

Q うちのパソコンのメモリーは8Mバイトだが、ニフティマネジャーとWWWブラウザの連携は可能か。

A 8Mバイトの環境のウィンドウズ3.1下でニフティマネジャーとNetscape Navigatorを連携動作させることは一応できましたが、フリーズすることもありました。ニフティマネジャーの動作環境は8Mバイト以上となりますが、WWWブラウザも同時に動かすとなると実際にはもっと多くのメモリーがあったほうが安心でしょう。



まとめ
ニフティマネジャー
Q & A



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp